

令和5年度 第2回 「みえ現場 de 県議会」
若者の人口流出について
～若者に選ばれ続ける三重県をめざして～

実施概要

- 1 日時・場所 令和6年2月15日(木)18時00分～20時00分
川越町中央公民館 大研修室
- 2 テーマ「若者の人口流出について～若者に選ばれ続ける三重県をめざして～」

三重県の人口は転出超過が続いています。また、三重県全体の転出者の過半数を若年層が占めており、若者の人口流出は県政の重要課題となっています。そこで今回は、進学や就職の際に他県への転出者が多い現状や課題について、当事者である若者と三重県議会議員が意見交換をします。若者の視点と県議会議員の視点を交わらせて、より良い三重県の未来を創造するための具体的な施策を検討し、今後の議会での議論に反映させていきます。

3 参加者等

○参加者 10人

三重県出身の20歳から37歳までの方 10人

(内訳:大学生 3人、大学院生 1人、社会人 6人)

○県議会議員(下線は広聴広報会議委員) 12人

議長 中森 博文 座長(副議長) 杉本 熊野
政策企画雇用経済観光常任委員長 芳野 正英
委員 荊原 広樹 委員 世古 明 委員 辻内 裕也
委員 中瀬 信之 委員 東 豊 委員 廣 耕太郎
委員 松浦 慶子 委員 吉田 紋華 委員 龍神 啓介

○傍聴者 17人

4 プログラム

- (1) 開会あいさつ
- (2) 参加者の紹介
- (3) 意見交換
- (4) 全体総括
- (5) 閉会あいさつ

5 意見交換等（二つのグループに分かれて実施）

<グループ A>

テーマ「なぜ県内・県外に就職・進学を選んだのか」

[主な意見（○参加者、●議員）]

○教員になりたいという目標があったので、三重県の教員になるのであれば三重県の大学のほうがいろんなサポートを受けやすいかなと考えていた。

○高校は県内、大学は東京、大学院で三重県に帰ってきた。帰ってきた理由は、東京の生活に飽きたというか、三重県が恋しくなったから。

○高校は県内、大学は名古屋に通っていた。名古屋での就職を考えた時期もあったが、三重県が好きだな、住みやすいなと思ったので、三重県で就職した。

○しばらく東京に住んでいたが、街が騒々しくてここは暮らすところではなく遊びに行くところだと感じた。

○都会のイメージはせかせかしているイメージ。時間の軸が違うと感じた。

○大学に行くタイミングで、もちろん東京とかいろんなところに行きたいっていう思いもあったが、金銭的な面、家族の事情とかいろんな問題が絡んで、やっぱり三重に残るのが一番という選択をした。いろんな憧れがあるけど結局最終的には三重に戻ってくるだろうという漠然とした感覚があった。それだけの魅力っていうか、居て安心できるっていうものが三重県にはあるかなと思う。

●皆さんの同級生はどれくらい地元に残っているか。

○感覚では8割ぐらいは県外。その半分は名古屋。あとは関西や関東。戻ってくる子もいるが、大体名古屋周辺で就職している。

●就職する際の待遇、休みの話などはどうか。

○働き方という点でいくと、どうしても三重県に上場企業が少ない印象がある。上場企業のほうが、福利厚生がよいのはどうしてもあるので、そういったところで選択肢が狭まってしまう。就活セミナーや合同説明会でも、三重県会場になるとすごく数が少なくて自分の思っているような会社が見つからないということも多い。名古屋や東京の説明会は規模が全然違って来るので、そこで流出に繋がってしまう。

●三重県の良いところ悪いところはどうか。

○三重県は万人受けする県だという印象。海もあって、山もあって。交通網という広い目で見ると、大阪も近鉄とか新幹線で行けばそこそこの距離で、名古屋も近くて、東京も何とかしたら9時の会議に間に合うという位置関係なので、意外と便利かもしれない。その割に結構のんびりな生活もできる。逆に、地域まで狭めて交通をみると、23号線と1号線の渋滞をなんとかしてほしい。狭い目で見るととても不便。

○名古屋圏、関東圏、大阪・京都も行こうと思えば車で1時間ちょっとで行ける便利さはある。海もあるし山もあり自然豊か。ただ、それは北勢地域だけで、ちょっと南とか西の方行ったら、それは叶わない。そこが表裏の部分だと思う。

○高校の生徒にアンケートをしたので紹介する。大学進学で三重県に残るのは多くて20人30人。2年生に聞いたら、進学希望は県内か県外かを聞いたら68%が県外、31%が県内。就職はどっちですかと聞いたら逆になって、県外が41%、県内が58%だった。今の段階では、進学はよそ行きたいけど、ゆくゆくは戻ってきたいなって感覚は高校生段階では少なからずある。ただこれが県外に行って県外の生活があって向こうに残りたくなる人たちが多く、流出したまま戻ってこないということだと思う。これがもっと戻って来やすい何か仕組みができないか。

○県外への進学を希望する子のほとんどが志望する大学がないからとか、希望する学部がないからという子が多い。逆に県内がいいという子は、通える範囲がいい、地元が慣れている、三重県が好きだからみたいな内容。

テーマ2「どんな三重県だったら住みたい・住み続けたいか」

[主な意見(○参加者、●議員)]

●荒唐無稽でも突飛でもいいので、こんなことをしてくれたら三重県がもっとよくなるの
と思うことはないか。

○大規模商業施設を増やす。

○大学を増やす。選択肢が少ないのが弱みだと思う。三重県にはこの大学があるって誇れ
る大学が増えたら、進学の部分で言えばシンプルな数自体は確保できる。

○三重大の学生は半分ぐらいが県外なので、地元就職する人材育成に寄与してない面
がある。

○フジテレビ系列とかの大きめのキー局などのテレビ局が一つあると違うのではないか。
例えば中京テレビを三重県に移設させたり、そういうことがあると大分違うのではないか。
大きなキー局の地方局になってくると、テレビの情報発信ももちろんだが、例えばラーメン
博みたいイベントもやってくれる。そういったイベント部でしてもらえば、例えば四日市
市とかがすごく頑張らなくても民間企業からそういったイベントが広まっていき、すごく面白
いのではないかなと思う。

○三重に住み続けるということは、結婚して、出産・子育て、教育という流れを想像したとき
に、やっぱりその支援が充実してないと戻ってきたいとか残りたいとは思わない。妊娠・出
産に関する手当や助成金とか支援は市町村とか県によって大分差があると思うので、そこ
を充実することが一番かなと思う。物価高騰などで家計が圧迫される中、家族が増えるこ
とによる恩恵がもらえないと三重県に残って子どもを産んでとまで思えないかもしれない。

○就職支援の対象者の実態を把握することは基礎自治体では難しいので、県が県外大
学と就職支援協定を締結しているので、そこでUIターン就職を希望している人たちのニー
ズをちゃんと掴んで離さない工夫が何かしら必要だと感じた。

●どんな学部があったらいいか。何に特化した学部・学科とか、こういう学校があればいい
っていうのは。

○英語が学びたかったので、選択肢が多い名古屋に進学した。三重県に英米語学科とか
があれば三重県に進学したのではないかなと思う。

○私立で総合大学が1個ほしいと思う。理系も文系も学べるようなところがあると違ってくると思う。お隣の滋賀県であれば結構田舎だが立命館大学のキャンパスのまわりはにぎわっている。

○スポーツ関係が強い大学があったら、集客の部分とかいろいろ考えてもスポーツの力ですごい大きいと思うので、それは一つ魅力になる部分なのかなって思う。

テーマ3「具体的な施策の検討」

[主な意見(○参加者、●議員)]

●三重県と県外にいる大学生とLINEで、いろんな県内情報を伝えるっていうのを今年度から始めている。なかなか大学生と県が繋がれないが、そういうところを拡充して、とにかくLINEでどんどん情報を送っていくのはどう思うか。

○あまり効果的ではないんじゃないかというのが率直な意見で、今聞いたイメージでいくと結構ダイレクトメールのように、いろんな情報が一方的に来るっていうことになるのと情報の整理も大変だし、あとは結局そういうのは今の若者は苦手というかあまり好きではないのが現状だと思う。プッシュ型ではなくて交流ができるような、LINEでもなんでもいいが、こっちから何か相談したいこととかがあればそれを聞いてもらえるようなプラットフォームがあればいいと思う。

○就職の話で周りから聞くのが、県外の人もそうだが、隠れ優良企業はないのかなという声。なかなか情報の取捨選択が難しいから助けて欲しいというような声は結構あったので、そこがもう少し整理されてくると就職先の選択肢として、三重県ももっと選ばれてくるんじゃないかと思う。

○就職活動を始めたころに「おしごと広場みえ」に登録した。あそこがもう少し、例えば今は履歴書の検索とかは積極的にやられていると思うが、スカウトみたいな業務もプラスアルファでしていくと、こういうところって君に合うんじゃないっていうようなアドバイスもあったら、そこから選考に進んでいく人は多いのではないかと思う。

○「みえの企業まるわかりNAVI」というホームページが作られているが、正直見にくい。三重県の企業の情報がわかるサイトがあるし、無期の求人情報を上げてるホームページがまた別であって、また別のサイトではインターンシップの情報があって、ホームページがいろいろ混在していて、初めて活用しようと思った人が使いにくいんじゃないかと思う。

○合同説明会に行っても三重県の企業は少ない。就職してから中小企業をたくさん見ている中で、いい企業ってたくさんあるんだっていうことに気づいた。それを大学時代に知っていたら、もうちょっと違っていたなと思う。

○メリハリのある子育て施策というか、特色のある、三重県ってここがすごいよねみたいなものがあつたほうがいいと思う。中途半端な施策でお金を満遍なく使ってしまうと、例えば、おむつが生まれて半年ぐらいもらえますよとなっても、そのあとじゃあどうするのみたいな話になるので、それであればもうやめてしまって、例えば教育で三重県は英語に特化して、英会話教室とかに行かなくても公的な教育で事足りますよっていうようなことのほうが、魅力は感じるのかなと思う。

○イベントがきっかけで移住するかっていうとちょっと疑問。それよりも大事なものは、その町の誇りみたいなものがあるっていうのはすごくいいのではないかな。

以上

<グループ B>

テーマ1「なぜ県内・県外に就職・進学を選んだのか」

[主な意見(○参加者、●議員)]

●自分の周りで、進学や就職を期に県外にいった人の割合はどれくらいと感じているか。

○7割ぐらい。進学校だったので国公立大学を目指す流れがあり、そうになると県内は三重大か三重短大しかなかったのが県外にでてしまう。

○同級生の半分ぐらいは県外にいったように思う。県外にでてた人はほとんどがそのまま県外で就職した印象。

○半数以上が県外に、大学時代の友達であれば8割近く県外にでてている。県内に残っているのは高卒で就職した人。大卒後県内に残ったのは自分1人のみ。大学は影響の大きい存在だと思った。

○周りの9割は関東や関西の大学にいてそのまま生活している。自分のように地元に戻って来たのは珍しい。

○8~9割は県外。「絶対都会のほうが楽しい」という考えの人が多い。

○地元のほうがいいなと思うことはあっても「三重県だからいい」というのは聞かない。地元が三重県ただだけ。

●南部出身者から北勢をみるとたくさん仕事があるように思うが、それでも北勢の人が県内での就職を選ばないのはどうしてだと思うか。

○北勢だと名古屋が見えている。職種の選択肢が広がるからではないか。

○三重大の就職説明会にいったとき、メーカーや工業系がほとんどで文系の行き先が公務員しかないように思った。

○大学の時に大手サイト(リクナビ、マイナビ)をみていたら、三重県で検索するとそもそもの母数が少なかった。少ない中から自分の興味関心で検索するとさらに狭まっていく。結局県内の会社で受けたのは1社だけだった。

○就活中の会社説明会でも差を感じる。愛知県は広い会場で大規模にやっていて、参加者にももらえる特典なども格差を感じる。人を集める力の規模の違いを感じる。

テーマ2「どんな三重県だったら住みたい・住み続けたいか」

[主な意見(○参加者、●議員)]

●どんな三重県だったら住みたいか

○子どもの時から川越町は医療の保障は大きいと感じている。自分は、実際に住むならそういった福祉面が気になるが、大半の人は都会への憧れがあると思うので、三重県も都会にしないといけないのかもしれない。

○朝日町は人口が増えていると言われているが、実態をみると、子どもは増、20代は減、30~40代は増で、育った子どもは街を出て行ってしまう。朝日町は都会に近く、学校に通いやすく、住みやすい街。同じような住みやすい街がたくさん三重県内に増えれば住みやすい県になるのでは。

○住みやすい街というと、どこまでいっても名古屋・大阪に勝てる気がしないので、何かに特化するのがあるのではないかと。「何か」の具体的なアイデアはないが…。

○流出を防ぐより戻って来た人が住みやすいところにするのがあるのではないかと。南勢の流出をなんとかしたほうが良いので、自然の豊かさを活かして都会で疲れた人が住みやすい街づくりをすれば戻ってきてくれるのでは。

○三重県は子ども向けの街設計になっていない。津市内からサオリーナに行く道で、歩行者が車のそばを通らなければならない、街灯がなくて暗いなど安全に不安がある。一方、大阪では、歩行者と車は分離されているし、街灯もあって明るくて安心できる。

●三重県の不便なところはどんなところか？(高齢者にとって、若い人にとって、いろいろな立場で)

○盛り上がりがない。FM みえがイオンでやっている「パンまつり」のような盛り上がる場がもっとあると良いと思う。

○住むとなると近所づきあいがあるが、よそから引っ越してきたひとだと行事を知らなくて参加してもらえないこともある。人口は増えていても消防団や青年団は人が枯渇している。単に人口増するだけではなく、人とのつながりをもてるようにすれば、おのずと人が集まって、何かあったときに助けてもらえる関係になるのではないか。

○B-1 グランプリはすごい集客だった。毎年持ち回りや固定で大きなお祭りをしたら、有名になれば観光地化につながっていく。一時的でも人を外から呼べれば、絶対数が多ければ住みたいと思う人もでてくる。大きな催しを継続的にして発信していく。

○名古屋の栄は中心地がそれほど広くなく、歩いてどこでも行ける。一方三重は交通の便が良くてもどうしても車なしでは過ごせない。歩いていける距離に何でもそろそろコンパクトな街になれば住みやすく魅力的になるのでは。車がいらなければその分の費用も浮かせられる。

○20代30代になると暮らしやすさに注目すると思うので、一度県外に出た層に三重の暮らしやすさをアピールすることが大事だと思う。

●三重県の暮らしやすさは何だと思うか。

○北勢は暮らしやすいと思う。大体何でも近くにある。南勢は不便(車が必要)だが自然が豊か。

○子どもが少ないので横のつながりが希薄になっているところが強くなっている。

○近所に同世代の人がいない。人口は増えているが同世代は県外に出て行ってしまっていない。

●地元での、消防団や青年団の良さは何かあるか。

○普段話さない人と話すきっかけになり、何かあったとき頼れる。青年団でまつりをやっているが、今は夏に楽しいことがたくさんあるので人が集まらない。自分も本来は青年団を抜けている年齢だが、人手不足で呼び出されている。

テーマ3「具体的な施策の検討」

[主な意見(○参加者、●議員)]

○あるものを活かしてきれていない。PCがあれば稼げる時代なので、南部の自然豊かで落ち着いて過ごせる生活のアピールをして人を増やしてはどうか。

○空き家を県が買い上げて借りたい人に貸すのはどうか。住めば衣食住の需要ができる。欲している人に与える観点もありだと思う。

○愛知だと、学校から就職、その後まで県内でライフステージを進める人がいるが三重はステージごとにててしまう人が一定いる。ゆりかごから墓場までではないが、県内で働き続けることができる産業があるといい。

●三重県で子どもを育てやすいと思うか

○川越では育てたいと思う。

○朝日も育てやすいと思う。自然も近いし都会も近くて住みやすい。

○現在、夫婦で子どもを持つことについて真剣に話しているところ。保育園については、世間でいうほどの入園の厳しさは三重県にはないが、金銭的な子育ての支援についてはしっかり発信してほしい。真剣に調べている自分でも、補助の情報が全くわからない。情報発信に力をいれてもらえたら、子どもを産んで育てようという気になるかもしれない。

○街のつくりが子ども向けではない。子育てしている人の視点が入っていないように思う。
(例 市役所の中に子ども向けのスペースがない)

以上

令和5年度 第2回「みえ現場 de 県議会」
若者の人口流出について
～若者に選ばれ続ける三重県をめざして～

アンケート結果

○当日の参加者・傍聴者 36人

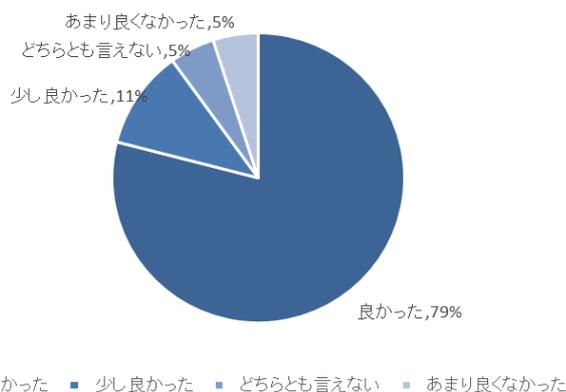
《内訳》・参加者 22人（参加者 10人、三重県議会議員12人）
・傍聴者 17人

○アンケート回答者 19人

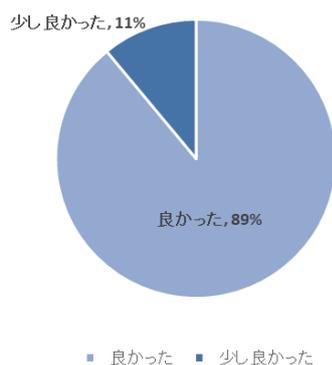
《内訳》・参加者 9人（回答率 90%）
・傍聴者 10人（回答率 58%）

Q1 本日の会議の感想をお聞かせください

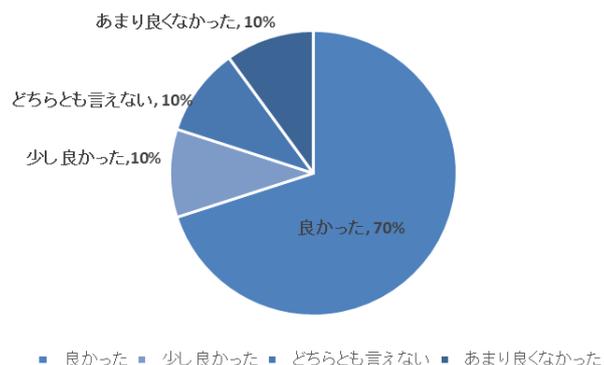
<全体（参加者+傍聴者）>



<参加者>



<傍聴者>



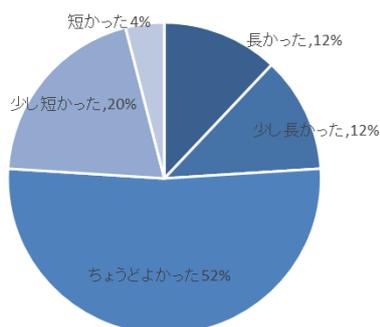
Q 2 本日の会議についてお気づきの点がございましたらご記入ください

(○参加者、●傍聴者)

- 三重県について改めて考える機会となった。
- 意見を積極的に聞いて頂けたのがあまりない機会だと感じたので良かったです。
- 色々な意見が聞けて良かった。
- 自分が感じていたことを他の同世代の人も感じていると知ることができたこと。
- 交流できる機会がない世代や立場などで意見や考え方を話せるのはよかった。
- もう少し、小さな人数での会話ができればもっとくだけた話ができただろうかと思います。
- 若い方の考えと自分達の年代の考え似た所が多いが少し異なる点もあり、そこが参考となった。
- 若者の生の意見が聴けてよかった。
- 参加者が個々に持つ地元への思いが聞けて有意義な時間でした。
- 思いを持った意見で参考になった。
- 県に残ってくださった若い方達の意見が聞けてよかった。市議会も見習うべきと思った。
- 議員5、参加者5は議員が多すぎる。参加者5+議員1×4グループ、外に出ている人の参加が必要。
- 今回の現場 de 県議会で対象がやはり大学生以上の方の意見が多くみられた。高校生(今後就職する方)とかの意見が聞けるとよかったのかなと思う。
- 県議団の服装をもう少しカジュアルにしてみてもいいのではないか。
- 意見が聞きとれにくかった。参加できなかったのが残念だった。
- 参加者の話が聞こえにくかった。

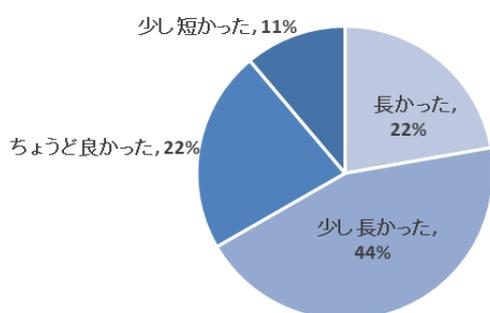
Q 3 本日の会議の時間の長さについて適切であったかお聞かせください

<全体（参加者＋傍聴者）>



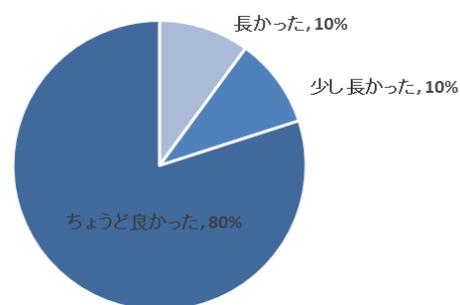
■ 長かった ■ 少し長かった ■ ちょうど良かった ■ 少し短かった ■ 短かった

<参加者>



■ 長かった ■ 少し長かった ■ ちょうど良かった
■ 少し短かった ■ 短かった

<傍聴者>



■ 長かった ■ 少し長かった ■ ちょうど良かった

Q 4 今後の「みえ現場 de 県議会」の開催テーマ・開催場所などについて、ご提案がございましたらご記入ください

(○参加者、●傍聴者)

- 今後は三重県の観光のテーマがあると面白いと思います。(特に「交流人口増加するためには?」)
- もうすこし具体的にテーマが決まっていると、この短い時間でももっと濃い意見など出ると思いました。楽しかったです。
- 若者の流出以外にも、イベントやもっと深い政策のテーマでそれぞれ意見交換できるとおもしろいと思った。
- 開催場所も参加者も多様になると良いと思った。
- 三重県の地域資源の有効的・効果的な情報発信のあり方について
- 今回話をした内容を、ぜひ具体的な政策・取り組みに反映していただけたらと思います。
- 人口流出についての様々な形のディスカッション話し合いが開かれるのであれば、高校生等幅をもたせた年齢層に話しが聞ける場があればと思う。
- 災害時の行政を超えた共助の心の育成と共に身近な避難所の確保
- 防災をテーマにしてほしい。